

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月3日

【評価実施概要】

事業所番号	874000219		
法人名	社会福祉法人 青州会		
事業所名	グループホーム どんぐり荘		
所在地	つくばみらい市狸穴1072-46 電話 0297-47-2012		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年11月14日	評価確定日	平成20年7月3日

【情報提供票より】(平成19年6月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月23日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤 3人, 非常勤9人, 常勤換算	7.95人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 2棟 造り 1階建ての延床面積408.29㎡、1室当りの居室面積 9.9㎡		
------	-----------------------------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	63,000 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(平成19年10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	4	要介護2	3
要介護3	10	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 84.7 歳	最低 73 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人慶友会 伊奈クリニック・守谷慶友病院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

設置法人が障害・介護施設等を運営しており、経験豊かな運営者は人材の育成に取り組むため、法人内の研修の実施や施設間の連携などに積極的に取り組んでいる。
また、デイサービスセンターが隣接し、利用者は希望により参加できる。
地域住民と共同による納涼祭や学童との交流・ボランティア受け入れ等、地域住民との交流の場をひろげ、平成20年4月には多機能型居宅介護をめざして準備を進めており、地域に密着したグループホームとして期待できる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回調査の要改善項目は改善している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果を踏まえ、課題の改善に取り組むなど、サービスの質の確保をめざしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、民生委員・市職員、家族代表、入居者代表を委員として、2ヶ月に1回開催し、報告や行事等を含めた話し合いを行っている。 会議中の意見・質問・要望等を記録し、サービスの質の向上に努めている。 市との関係づくりを大切に常に担当者と連絡を取り合い、連携・協議しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) ホームたよりを2ヶ月に1回発行しており、利用者の生活状況や行事予定等を報告している。 家族に利用者の状況を知らせたり、必要に応じ金銭の受払い状況等も報告している。 職員は、家族等の訪問時に利用者の日常生活の状況を報告し、意見・要望・不満・苦情等を必ず聞いている。 意見等を直接言いにくい家族等に配慮するための検討することを期待する。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームと町内会共同の納涼祭を開催しており、利用者は地域の人たちと準備等と一緒にすることを楽しみにしている。 また、餅つきや蕎麦うちのボランティアを受け入れるなど、地域の人達と交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームは地域の中のグループホームであることを念頭に、「入居者の人格を尊重し、その人らしい生活、自立支援に向けたケアを提供する」の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、管理者と職員全員で検討し作成したものであり、日々の業務の目標として、実現を図るために毎日確認し合って支援等に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームと町内会共同の納涼祭を開催しており、利用者は地域の人達と準備等を一緒にすることを楽しみにしている。 また、餅つきや蕎麦うちのボランティアを受け入れるなど、地域の人達と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	開設から3年が経過し、運営も軌道にのるとともに、職員は外部評価の意義を理解している。 外部評価の結果を踏まえ、課題の改善に取り組むなど、サービスの質の確保を目指している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、民生委員、市職員、家族代表、入居者代表を委員として2ヶ月に1回開催し、報告や行事等を含めた話し合いを行っている。 会議中の意見・質問・要望等を記録し、サービスの向上に努めている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市との関係づくりを大切に常に担当者と連絡を取り合い、連携・協議しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームたよりを2ヶ月1回発行しており、利用者の生活状況や行事予定等を報告している。 家族に利用者の状況を知らせたり、必要に応じ金銭の受払い状況等も報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は、家族等の訪問時に利用者の日常生活の状況を報告し、意見・要望、不満・苦情等を必ず聞いている。	○	意見を直接言いにくい家族等に配慮するための検討することを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職者は少なく、隣接するデイサービスセンターの職員が出入りしているので、職員の写真を掲示するなど、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は、設置法人が実施している各種研修会に参加している。 研修の結果を全体会議において報告するなど、他の職員のスキルアップにつなげている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、病院・障害者施設・介護施設等の運営経験から、相互間の情報収集や施設間交流、勉強会・研修会を定期的開催し、サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者がホームの環境や雰囲気になじめよう、隣接のデイサービスセンターを利用している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、明るい笑顔で利用者の好きな歌を共に歌い、本を読み・野菜づくり等を楽しむなど喜びを共感している。 また、不安やこだわり等に陥りがちな利用者の個別性にも気づかいながら、場面づくりや声かけにより支えあう関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の生活歴を理解するとともに、本人の意見を聴き、言葉や表情等からも推察しながら、本人本位のサービスに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員で、利用者一人ひとりのカンファレンスを行い、介護計画を検討し、本人や家族に説明するとともに、理解を得て介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況の変化に応じて、臨機応変に介護計画の見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望により隣接するデイサービスセンターの活用、ドライブやいちご狩り、芋ほり等要望に応じた柔軟な支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の意見を聞き、必要に応じて協力医療機関やかかりつけ医に適切な医療を受診できる体制となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	管理者は利用者の重度化や終末期についての対応を理解し、マニュアルを作成している。 近くの協力医療機関と協力体制を構築するとともに、家族と方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りを傷付けないよう、さりげない誘導や声かけ・見守りに配慮するとともに、プライバシーの確保に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの状態や思いを配慮しながら趣味や買い物、散歩、楽しみ等希望にそった支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をし、片付けも一緒に行うなど声かけや場面づくりをしている。 献立は、利用者とは相談しながら、食事を楽しめるよう工夫している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を確認して、入浴を楽しめるよう支援している。 入浴を拒む利用者には、言葉かけや環境づくりを工夫するなど、入浴出来るよう努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や特技を上手に引き出し、野菜づくりや花壇の手入れ等の役割や楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	必要に応じて買物に出かけたり、日々散歩等の外出支援をしている。 また、隣接のサービスセンター利用者と希望により交流している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員による見守りを徹底し、居室から庭園への出入り口は鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを作成し、消防署との連携を図り年2回実施している。 夜間訓練も実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の嗜好を尊重し、献立を共に考え食事をつくり、利用者の嚥下の状況により軟食やきざみ食を取り入れ、摂取量を記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は和室に炬燵、ソファの配置等ゆとりのある空間を確保するとともに、全体的に生活感があり、居心地よく過ごせる工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、利用者が自宅で使い慣れたものや好みのものがあり、利用者の心を大切にする配慮がされている。 家族の宿泊も希望により対応し、寝具等も準備されている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。